

Manus AIが拓く2026年の知的財産業務：自律型エージェントによる革新

Manus AIを支える革新的アーキテクチャ

CodeActによる自律実行

クラウド上のサンドボックスでPythonコードを自律生成・実行し、複雑なデータ解析を完遂。



MCPによる外部DBとのシームレスを統合

USPTO等の外部特許DBに直接接続し、ハルシネーション（幻覚）を抑制。



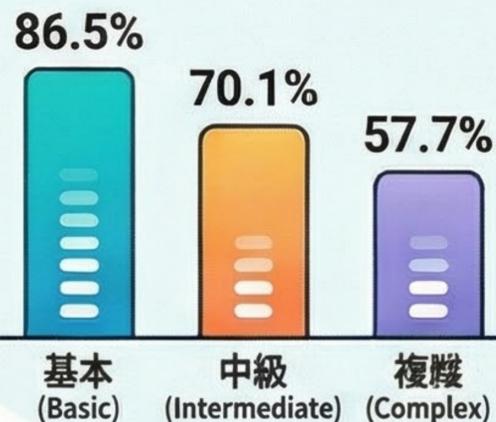
Agent Skillsによるノウハウの形式知化

熟練者の思考プロセスを「SKILL.md」としてパッケージ化し、組織内で再利用。



Manus AI

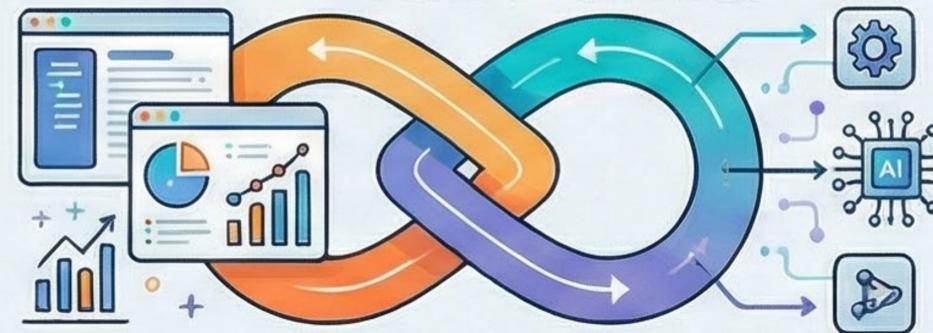
GAIAベンチマークにおけるManus AIの達成率



2026年の知財戦略：共生とガバナンス

ハイブリッド・インテリジェンス

専門ツールの高精度データとManusの自律ワークフローを連携させ、分析を高度化。



Human-in-the-Loopの徹底

法的責任と「発明者適格性」を担済するため、最終判断には必ず専門家が介在。



責任の盾としてのガバナンス

日本のAI事業者ガイドラインに準拠し、サンドボックス検証や多層防御を実装。

